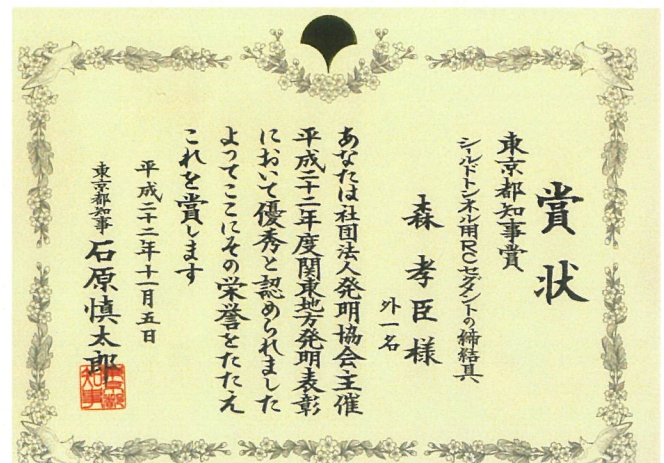


セグメント継手技術

NETIS 登録No. KT-110061-A

■関東地方発明表彰 東京都知事賞

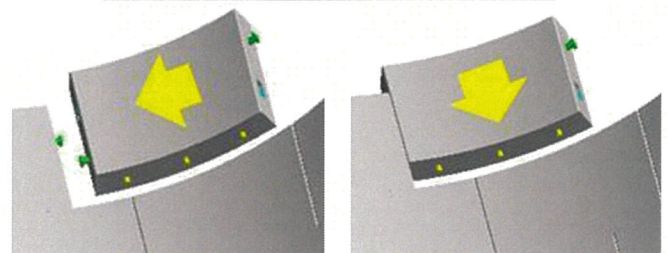
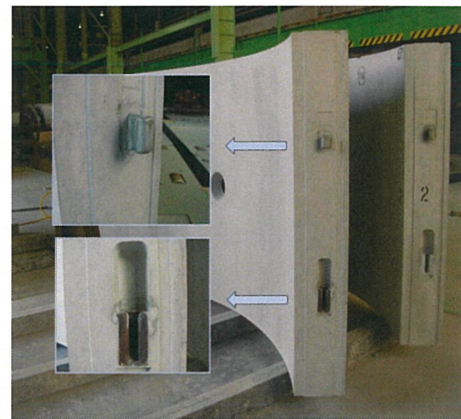
スライドコッター継手が(社)発明協会主催の「平成22年度 関東地方発明表彰」において「シールドトンネル用RCセグメントの締結具」(特許第4439131号)の名称で東京都知事賞を受賞しました。



継手金物の種類

継手位置	名称	形状
セグメント継手	コッター継手	
リング継手	クイックジョイント	

セグメント組立手順



①セグメント位置合わせ

②軸方向に挿入 (締結完了)

技術 (工法) の特徴

■組立作業の高速化

セグメントの位置決め及び締結動作が簡素化されることで組立作業の平易化かつ高速化を実現しました。
コッター継手：セグメントの位置決めとセグメント継手、リング継手を同時に締結できるため、組立時間の大幅な短縮を可能としました。

■品質の向上

セグメントの断面欠損が小さいことから配筋が有利であり、セグメント本体に弱点を持ちません。

■トンネル内面の平滑化の対応

コッター継手：穴埋め工が不要です (継手金物のトンネル内面への露出は一切無し)。

■継手締結の安全性の向上

セグメント組立作業において、高所作業、狭隘作業がボルト継手に比べ少なく、継手締結の安全性が向上します。